

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟
コンテンツ・ラボ

JCTA 参加の海外共同製作番組が「記録・中国」ドキュメンタリー賞を受賞

中国広州で2014年11月11日～14日に開催された「中国国際ドキュメンタリーフェスティバル」の表彰式において、中国ラジオ・テレビ協会主催による「記録・中国」ドキュメンタリー賞で、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟および加盟のケーブルテレビ事業者が共同製作に参加した日本の和食ドキュメンタリー番組『櫻之味』シリーズが自然・人文部門で第3位を受賞した。

北京テレビのHP掲載のレポートより

受賞した番組『櫻之味』は、平成24年度の総務省補正予算「アジア地域における国際共同製作に関する調査研究」事業の一環として、株式会社ジャパンエフエムネットワークが北京テレビ（中国）に呼びかけて開始された共同製作のシリーズ番組である。内容は和食の魅力を伝えるドキュメンタリーで、食材が生まれた地域の紹介から職人の人生に密着して構成している。上記予算によりシリーズ5番組（穴子／豆腐／蟹／蕎麦／日本酒）を昨年秋から製作し、本年2月～3月に北京テレビのドキュメンタリーチャンネルで放送して現地で好評を得た。

このシリーズのうち、蕎麦と日本酒の2番組の製作について当連盟でコーディネートを担当し、蕎麦はiネット飯山（長野県）が撮影および編集に、日本酒は株式会社秋田ケーブルテレビ（秋田県）が撮影に参加した。

「記録・中国」ドキュメンタリー賞は、中国の民放連にあたる中国ラジオ・テレビ協会が主宰するもので、第8回となる今回は400本の応募があった。その中から「人文・自然」「社会」「文献」のカテゴリーでそれぞれ第3位までが大賞として発表された。

日本との政治関係の緊張が続く中国でも、隣国日本への興味は依然深い。当連盟と株式会社ジャパンエフエムネットワークとは今後もより多くの分野で、より多くの日本の地域の魅力を掘り起こし、映像コンテンツにして海外に発信して行きたいと考えている。

本年度は、中国側のメディア・パートナーに新しくSMG（上海・メディア・グループ）を迎えて放送エリアを広げ、シリーズ・シーズン2として放送する計画を進めている。これには当連盟で初の4K製作シリーズとして現在国内配信中の『けーぶるにつぼん 美・JAPAN』シリーズの番組素材を中国向けに再構成することで製作参加する。また、この番組で取り上げる日本の食材や料理が放送後、中国のレストランメニューで実際に食べられるようにするなどの産業連携も計画している。



北京国際纪实影像创意产业基地参与制作的《樱之味——舌尖上的日本》荣获第八届“纪录·中国”创优评析人文自然类三等奖。该片由BIDC与日本JFN公司联合制作。摄制组走访了东京、能登半岛、長野、江戸等美食圣地，带领观众深度体验都市奇妙豆腐、新鲜美味的大螃蟹、震惊世界的长寿秘食荞麦面以及味道梦幻的江戸穴子鱼还有让人唇齿留香的正宗日本酒，从中感受日本料理的独特魅力，在料理中解读传统与现代交融的日本文化。

～本件に関するお問合せは下記までお願いいたします～

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟

コンテンツ・ラボ 担当：中田 TEL:03-3566-8200 E-mail:nakata@catv.or.jp

株式会社ジャパンエフエムネットワーク

アジア戦略室 担当：外川 TEL:03-3221-0244 E-mail:togawa@center.jfn.co.jp